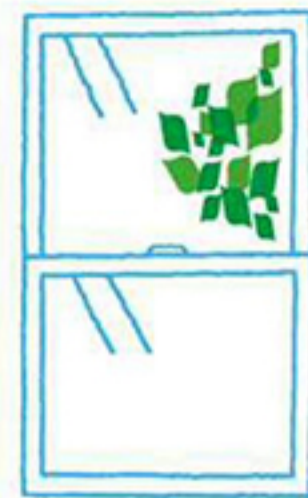


高性能樹脂窓  
APW 330



■冬でも部屋が暖かいのは、高い断熱性のおかげ。

樹脂+Low-E複層ガラスがアルゴンガス封入で、国内最高レベルの断熱性を実現。

### ■樹脂スペーサー仕様



熱貫流率  
1.31※  
W/(m<sup>2</sup>·K)

たてすべり出し窓+FDX連窓  
【16513サイズ】  
Low-E複層ガラス プルー  
アルゴンガス入  
3+Ar16+Low-E3  
樹脂スペーサー  
※JISA4710に基づいた試験値

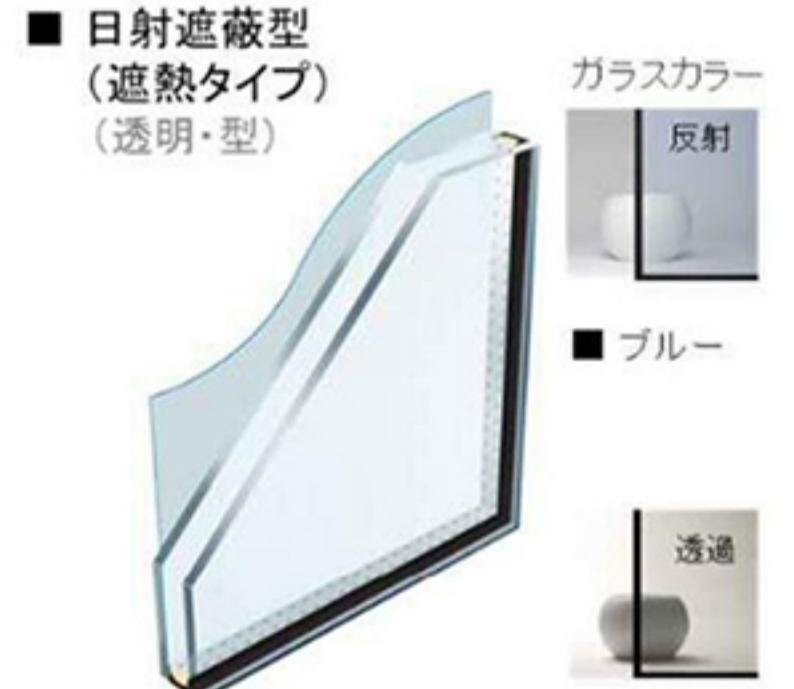
**熱貫流率**  
室内側と室外側の温度差を1℃としたとき、窓ガラス1㎡に対して、1時間の間にどれだけ熱が通過するかという熱量のことをいいます。

**Point**  
熱貫流率の値が低いほど、熱の移動が少なく抑えられる。



**アルゴンガスとは？**  
大気中に3番目に多く含まれている気体で、希ガスのひとつ。無色・無臭で、食品の酸化防止のための充填ガスなどに利用されています。

**Point**  
熱伝導率が低く断熱効果アップ  
／ 空気の1.5倍！



[耐風圧性能] ※一部窓種・サイズを除きます。  
■ S-3



[気密性能] ※一部窓種を除きます。  
■ A-4



[遮音性能] ※一部窓種を除きます。  
住宅性能表示 音環境 透過損失等級(外壁開口部) 等級3  
※試験結果による(3mm+A16+3mm複層ガラス使用時)



[水密性能] ※一部窓種を除きます。  
■ W-4



[防露性能]  
樹脂+Low-E複層ガラスは、このいやな結露の発生を抑えます。  
※注意 結露はサッシの性能だけでなく住まい方や自然環境に影響されます。室内の条件によって結露が発生する場合があります。



### ■暑さの7割、寒さの5割は窓が原因です

窓やドアは、熱の出入りが一番大きいウィークポイント。  
窓の断熱性を高めることで、住まいの快適性がグンと向上します。

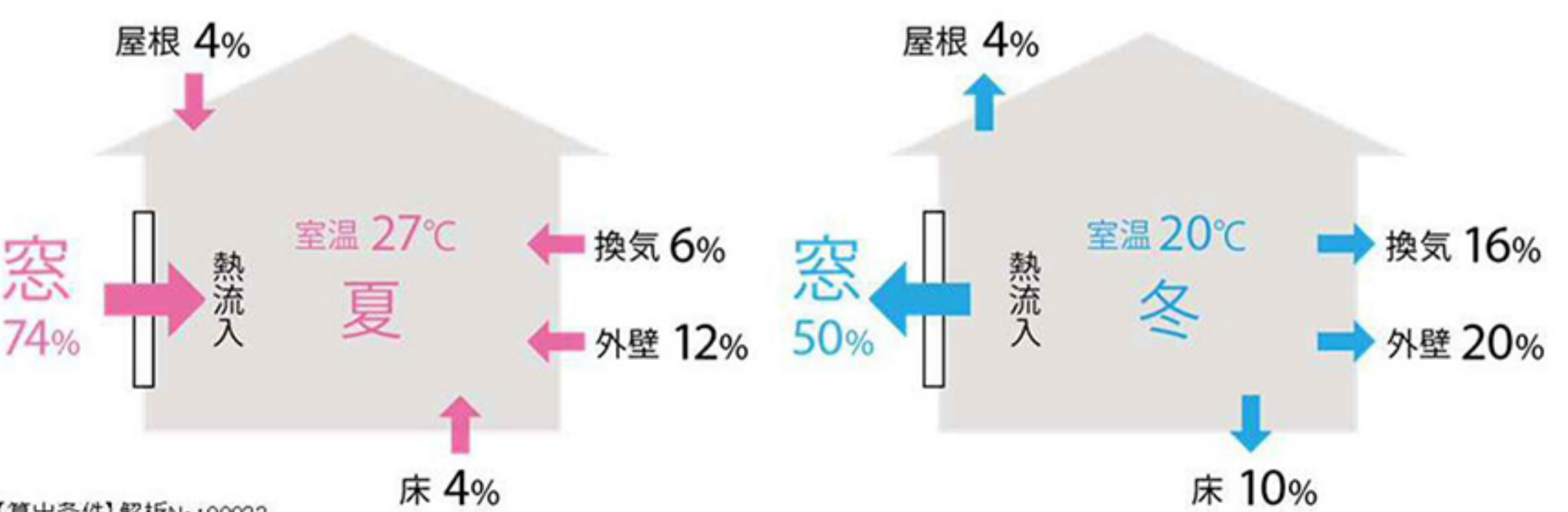


### ■樹脂窓とアルミ窓を比較してみましょう

家の断熱性能が低い場合、エアコンの設定通りに室内が暖まりません。  
窓の断熱性能は、室内の温度環境に大きな影響を与えます。

家に流入する熱の割合 夏:外気温 34.8℃  
※8月5日14~15時(日平均外気温最大日、東京)

家から流出する熱の割合 冬:外気温 2.6℃  
※2月14日5~6時(日平均外気温最低日、東京)

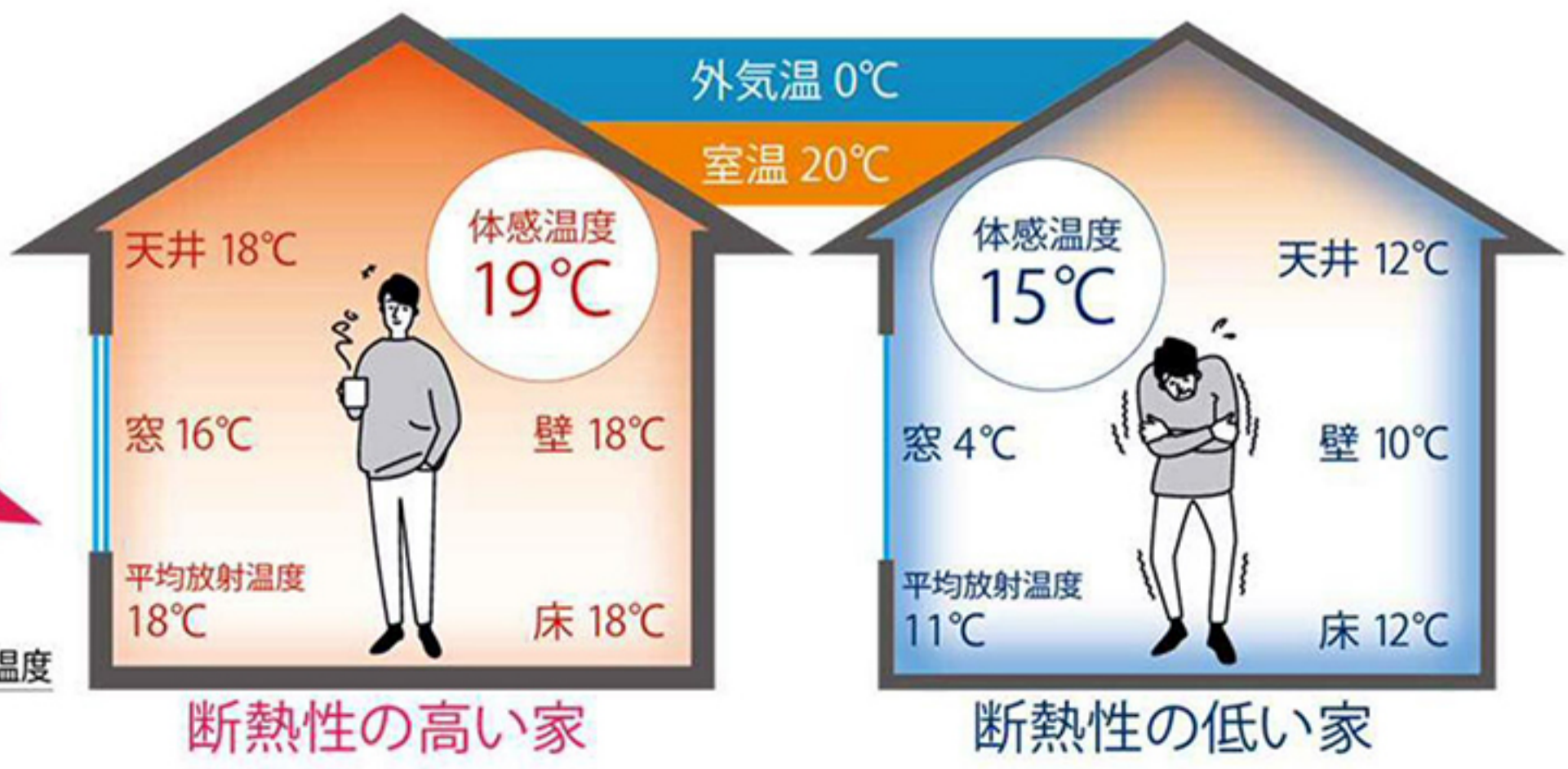


【算出条件】解析No:00003  
●使用ソフト: AE-Sim/Heat(建築の温熱環境シミュレーションプログラム)/(株)建築環境ソリューションズ  
●気象データ:「拡張アメダス気象データ」2010年版標準年/(一社)日本建築学会 ●住宅モデル:2階建て/延床面積120.08㎡/開口部面積32.2㎡(4~8地域)  
「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説II住宅」標準住戸のプラン ●躯体:平成28年省エネルギー基準レベル相当  
●窓種:アルミサッシ(複層ガラス(A8未満))

室温と体感温度の違い  
※YKK AP調べ

体感温度で  
4℃も  
高い!

体感温度 =  $\frac{\text{室温} + \text{平均放射温度}}{2}$



【算出条件】解析No:00003  
●使用ソフト: AE-Sim/Heat(建築の温熱環境シミュレーションプログラム)/(株)建築環境ソリューションズ ●気象データ:「拡張アメダス気象データ」2000年版標準年/(一社)日本建築学会 ●計算地点: 京都 ●住宅モデル:2階建て/延床面積120.08㎡/開口部面積32.2㎡(4~8地域)「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説II住宅」標準住戸のプラン ●住宅の仕様:断熱性の低い家/躯体無断熱 開口部アルミサッシ(単板ガラス)、断熱性の高い家/躯体HEAT20 G2基準適合レベル相当 開口部APW330(Low-E複層ガラス(遮熱タイプ)ブルー)/ガス入/樹脂スペーサー

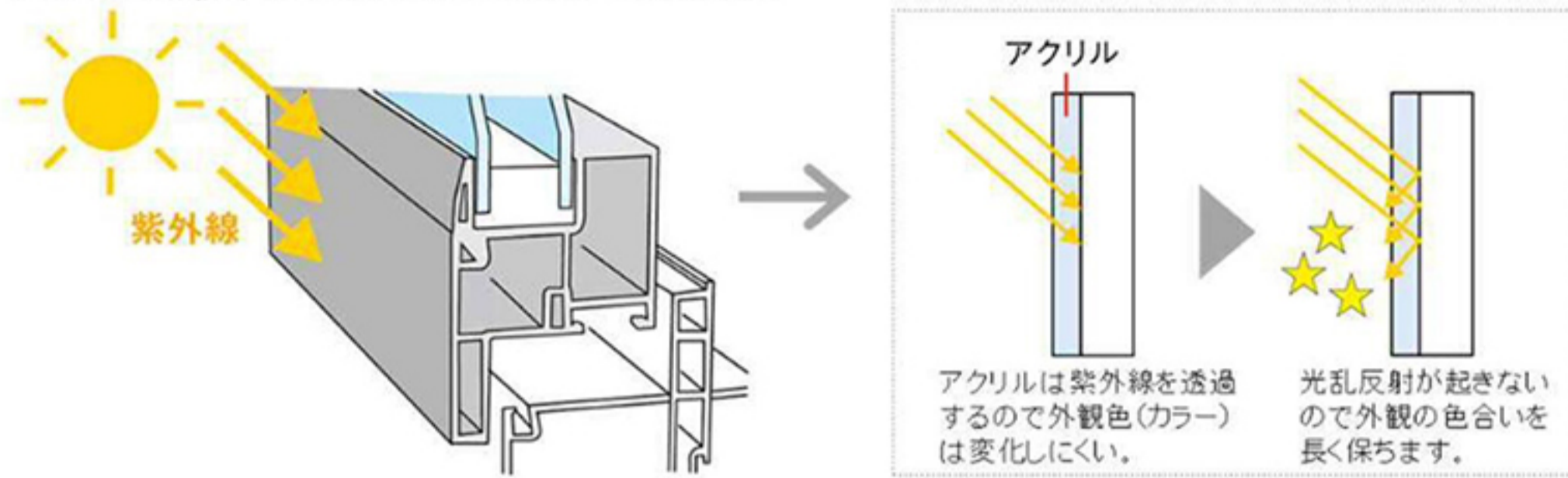


高品質

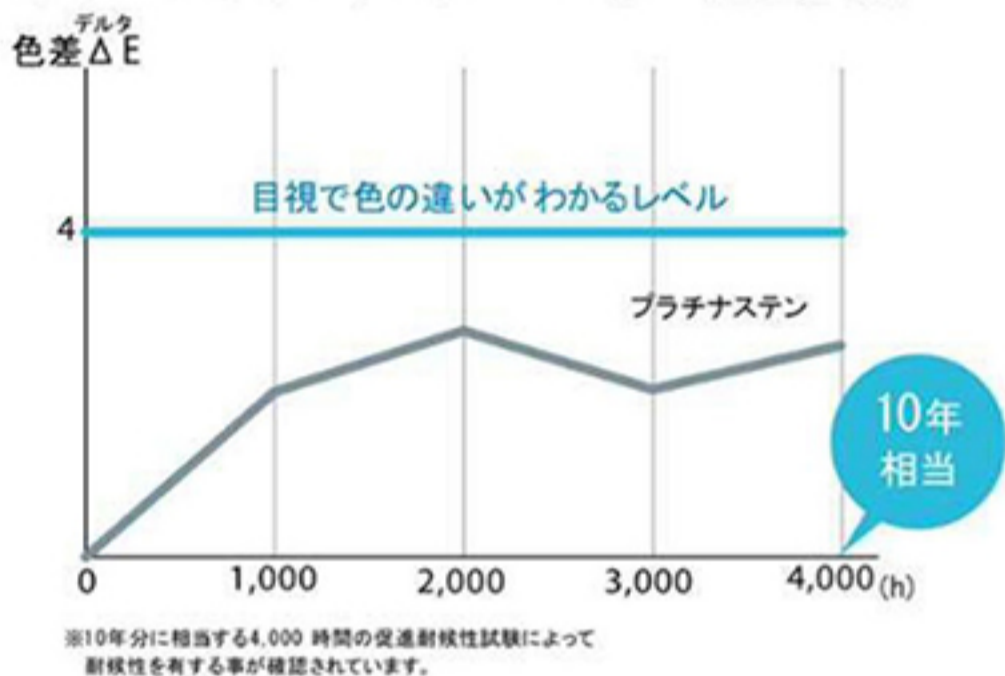
## ■紫外線に強く、耐候性に優れた樹脂素材を使用。

APW 330の外観カラー色は、様々な耐候試験をクリアした、塩ビ(PVC)+アクリル積層を使用しています。

●アクリル積層 (APW 330) ※内外観ホワイト色は除きます。



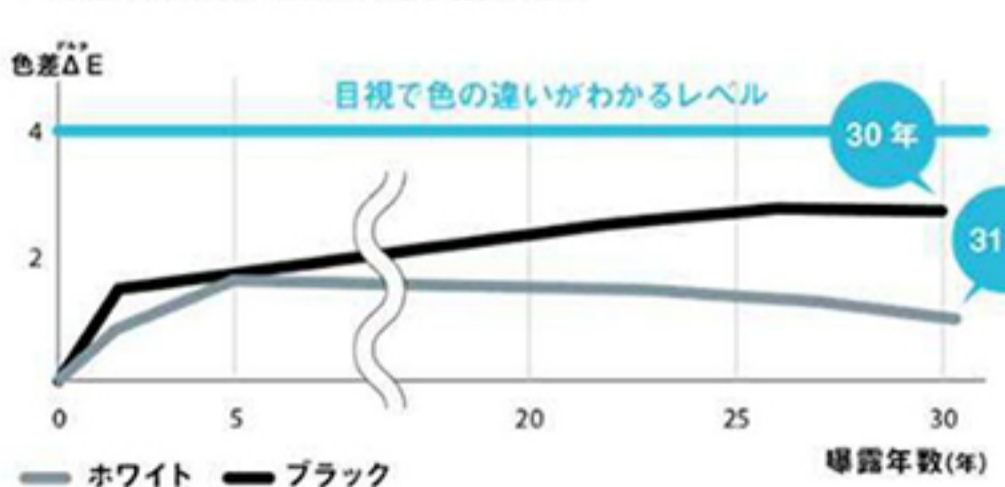
●サンシャインウェザーメーター促進試験



内部に強力な光源を持つ装置で、周囲に配置した試料に24時間光を照射し続け、同時に雨を想定した水を噴きかける。実際の屋外曝露試験より過酷な条件で行う耐候試験です。この試験でも色の顕著な色褪せや退色はみられません。



●完成品の屋外曝露試験



東北製造所敷地内の屋外に設置した完成品を使い、太陽光や雨風に長時間曝された樹脂窓の色差を測定し耐候性能を確認する試験です。約30年経過し、試験体を保持する木製躯体が朽ちる程の条件下でも、樹脂部材には目立つ表面変化は見られませんでした。



※屋外曝露・促進耐候性試験は社内試験となります。実際の商品周辺の環境やお手入れ状況によって、経年による色変化の度合いは異なります。お手入れ方法は『使い方&お手入れガイドブック』をご参照ください。

## 樹脂窓の優れた断熱性って？

「断熱」とは、熱が伝わらないようにすること。住まいの断熱がスムーズに行われると、外気温の影響が小さくなります。すると、暑い日も寒い日も、家の中は快適な温度を実現することができるのです。

APW 330の樹脂窓は、フレームをアルミから樹脂にし、ガラスを複層にすることで、その断熱性を高めています。

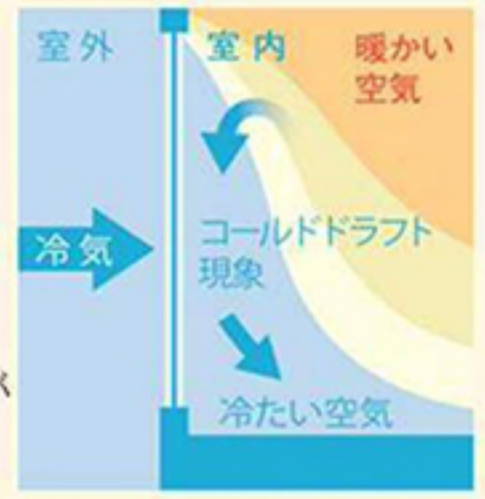
進化のポイントは、フレームの「樹脂化」とガラスの「二重化」



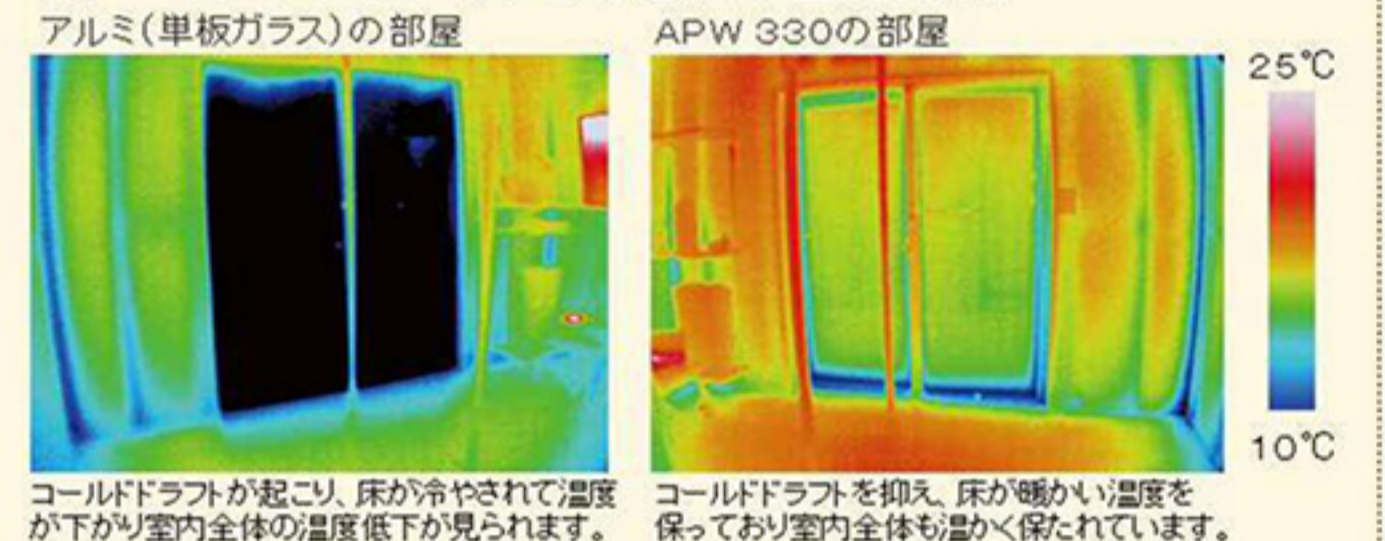
## 冬の窓辺も足元あったか

コールドドラフトとは

コールドドラフトとは、窓辺で冷やされた空気が、下降気流となり足元に流れてまわっていき、冷たい空気は下へたまる性質があります。

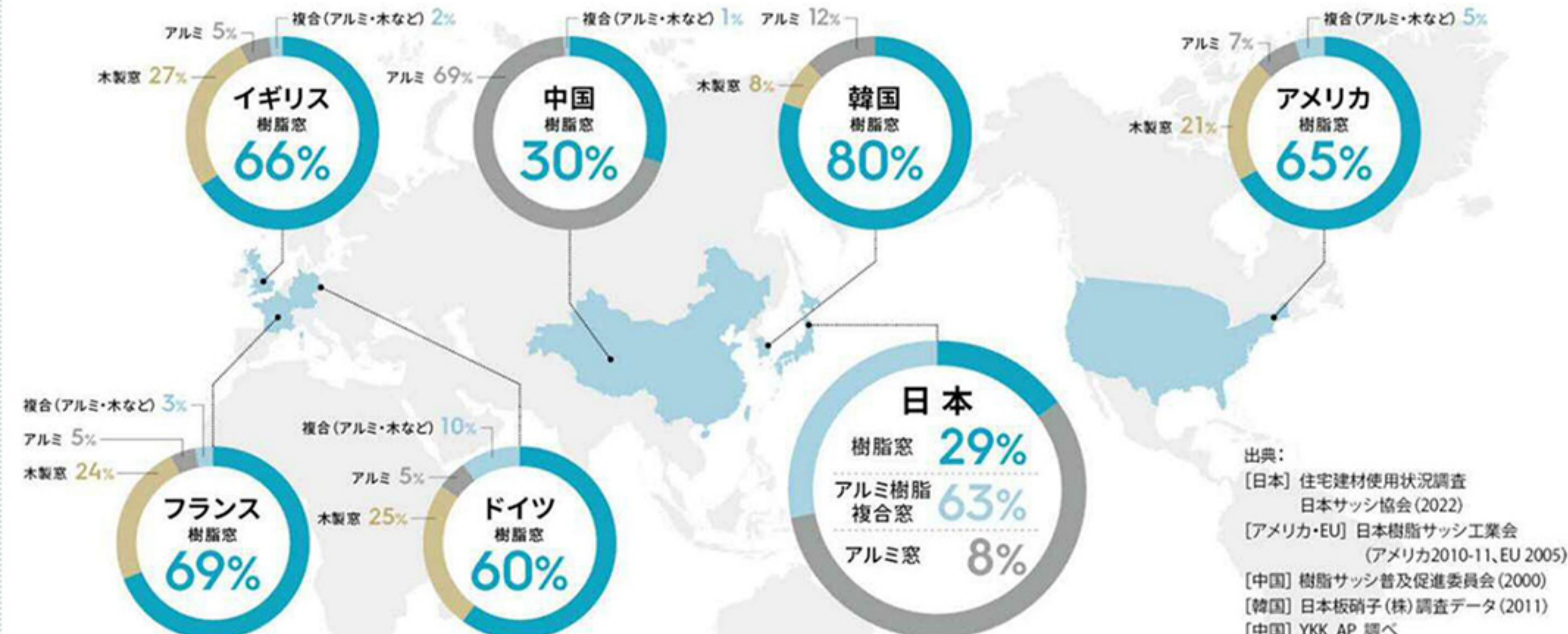


[サーモグラフィカメラによる窓辺の温度比較]



## ■欧米はすでに樹脂窓がスタンダードです

窓枠の材質に見る、断熱に対する意識の違い



## 樹脂窓からはじまる こちよい毎日

高い断熱性で夏涼しく、冬暖かい。日本の住まいに快適なごちよをお届けします。

APW 330は、樹脂とLow-E複層ガラスで国内最高レベルの断熱性を実現。熱の出入りを抑え、住まいの快適を実現します。その気密性の高さや省エネ効果は、エコ住宅との相性も抜群です。



### 高性能樹脂窓 APW 330

国内最高水準の断熱性で地球温暖化防止にも貢献。メーカー10年保証で安心です。

快適性 エコロジー デザイン 高品質



APW 330は「省エネ建材等級」において最高等級★★★★★の商品です。  
 ※オーダーサイズなど一部「4つ星」に適合しない商品があります。  
 (試験方法/JIS A 4710-2004に準じた社内試験)と(計算方法/JIS A 2102-1およびJIS A 2102-2に準じた解析結果)

※一部窓種・サイズにより上記性能に該当しないものがあります。

※商品の色は、印刷の特性上、実物と多少異なる場合がありますのでご了承ください。



## 商品一覧

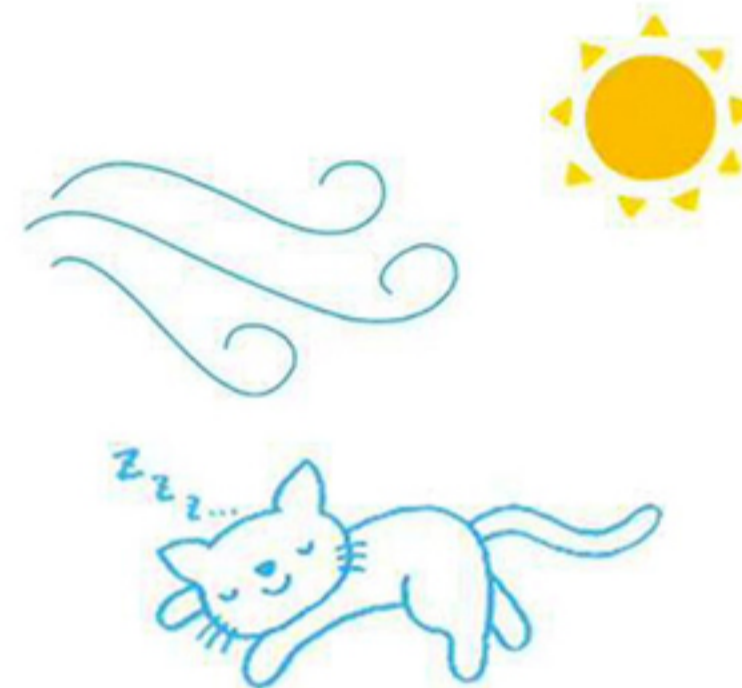
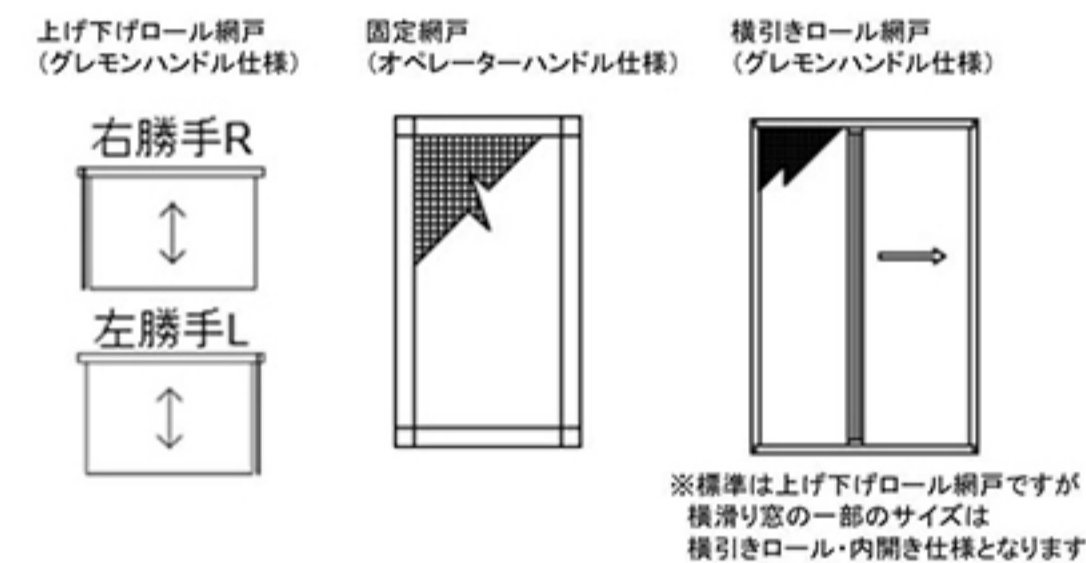
### 上げ下げ窓



### 引違い窓



### すべり出し窓・縦すべり出し窓



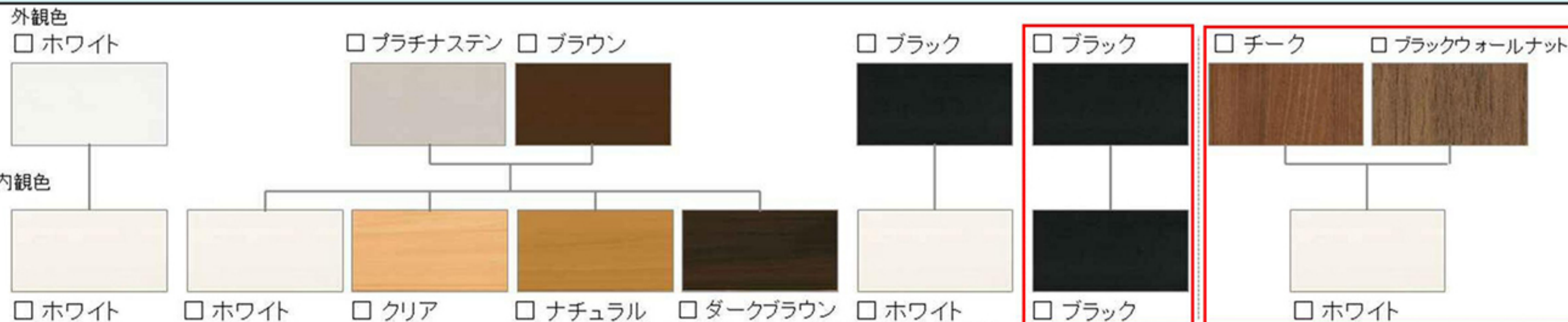
### FIX・高窓用すべり出し



### セカンドドア



## カラーバリエーション



※シャッターの外観色(基本4色)は窓の外観色と同色となります。木目仕様では、シャッター外観色はブラウン(B1)になります。

3Dでさまざまな角度から色の組合せなど確認できる

「AR断面ビュー」



\*内外観ブラック同色  
\*外部木目色  
オプションとなります